



★★★★★★★★ 倉吉パークスクエア 1月の催し物 ピックアップ ★★★★★★★★★★

倉吉未来中心 大ホール

- 平成18年度倉吉市成人式
と き：1月7日(日)13:30～15:00 (開場 13:00)
入場料：無料(一般入場可)
◆鳥取県警察音楽隊コンサート有り 14:00～14:30
<多数ご来場ください>
※問合せ先：生涯学習課(☎ 47-1181) *月曜休館
- 第10回上井流福寿会 新春芸能チャリティー発表会
と き：1月14日(日)11:00～15:00 (開場 10:00)
入場料：全席自由 (1,000円)
※問合せ先：上井流福寿会(☎ 35-3822)
- 第16回中部芸能総大会
と き：1月21日(日)10:45～16:00 (開場 9:30)
入場料：全席自由 (300円)
※問合せ先：天主会(☎ 28-3119)

倉吉未来中心 小ホール

- うわなだふれあいコンサート
と き：1月13日(土)13:30～16:00 (開場 13:00)
入場料：無料
※問合せ先：倉吉市子どもいきいきプラン推進協議会 上灘小横濱(☎ 22-4772)
- WESTコンサート2007
と き：1月21日(日)14:00～16:00 (開場 13:30)
入場料：無料(整理券が必要)
※問合せ先：倉吉西高 西村(☎ 28-1811)
- 人権プログラム研究会
と き：1月24日(水)13:10～15:40 (開場 12:40)
入場料：無料
※問合せ先：鳥取県人権教育調査研究委員会事務局 (鳥取県教育委員会人権教育課内)(☎ 0857-26-7534)

倉吉未来中心 アトリウムほか

- 平成18年度鳥取県統計グラフコンクール入賞作品展
と き：1月8日(月・祝)～14日(日)

- 初日 10:30～最終日 16:00 (アトリウム)
入場料：無料
※問合せ先：鳥取県統計協会(☎ 0857-26-7103)
- パイプオルガンの会 FREE CONCERT
と き：1月19日(金)12:00～13:30 (アトリウム)
入場料：無料
※問合せ先：パイプオルガンの会 清水(☎ 22-3597)
- 平成18年度全国学校給食週間 児童生徒作品展
と き：1月24日(水)～30日(火)
初日 9:00～最終日 17:00 (アトリウム)
入場料：無料
※問合せ先：倉吉市学校給食センター(☎ 28-3343)
- 健康づくり講演会 認知症の話 講師：西山 聡さんさとし
と き：1月26日(金)13:30～15:00
(セミナールーム3)

- 入場料：無料
※問合せ先：健康支援課(☎ 26-5670)
- 平成18年度鳥取県人権協働ネットワーク「ミニシンポジウム」実施事業「すべての子どもに安心・自信・自由を！」森田 ゆりさんワークショップ
と き：1月28日(日)13:30～16:00
(セミナールーム3)
入場料：無料(※託児・手話通訳有一事前申込が必要)
※問合せ先：とっとりCAP設立記念シンポジウム実行委員会(☎ 090-8358-3482)

倉吉交流プラザ

- お手玉教室
と き：1月6日(土)、20日(土)13:30～15:00
ところ：第1研修室
内 容：お手玉の技を学んだり、お手玉を作ったりします。
参加費：無料(だれでも参加できます(当日受付))
※問合せ先：生涯学習課(☎ 47-1182) *月曜休館
- たのしいレクリエーション
と き：1月13日(土)10:00～12:00、13:00～15:00
ところ：第1研修室
内 容：おいしい日本の心
参加費：無料(だれでも参加できます(当日受付))
※問合せ先：生涯学習課(☎ 47-1182) *月曜休館

広告募集中!! 倉吉市秘書広報課
TEL 228160 FAX 228144

四季快館
高気密高断熱住宅

無料
宿泊体感してみませんか
24時間換気+全館冷暖房システムの快適さをぜひ泊って実感して下さい
寒いこの時期は特におすすめです!!

申込・問合せ先 (有)向井組
☎ 0858-26-3221 / FAX 0858-26-6718

有料広告

赤瓦イベント情報 1月

- ◆ 1/6(土)～14(日) 夢あーと 9時～17時 赤瓦ギャラリー
- ◆ 1/10(水) 折紙教室 10時～12時 赤瓦フリースペース
- ◆ 1/13(土)・14(日) 赤瓦骨董市 9時～17時 赤瓦フリースペース
- ◆ 1/14(日) 戸板市 9時～12時 赤瓦1号館東側駐車場

※問合せ先：(株)赤瓦 (☎23-6666/FAX23-6667)
年始は1月1日12時から営業します。

市立図書館

KURAYOSHI CITY LIBRARY

■「歌とおはなしのつどい」にぜひどうぞ！

絵本をめくるようにお話と歌でつづるひとときを親子でお楽しみください。入場は無料です。

と き：1月14日(日)

開 場：13:30 公 演：14:00～14:50

と ころ：倉吉交流プラザ2階

視聴覚ホール

出 演：わらべ館童謡・唱歌推進員

西岡恵子さん、三好芳子さん

定 員：150人

※倉吉・せきがね図書館カウンターで整理券配布中。

※問合せ先：倉吉市立図書館 (☎ 47-1183)

■雑誌のリサイクル市を開催します。

保存年限の過ぎた雑誌を無料で配布します。持帰り用の袋を持ってご参加ください。

と き：1月27日(土) 10:00～14:00

と ころ：倉吉交流プラザ2階視聴覚ホール

※せきがね図書館の雑誌は除きます。



倉吉市立図書館

☎ 47-1183

FAX 47-1108

せきがね図書館

☎ / FAX 45-2523

http://www.lib.city.

kurayoshi.tottori.jp/

1月の休館日 カレンダー	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
15・22・29日は休館日 9日は振替休日 25日は資料整理休館日	⑦	8	9	⑩	11	12	13
○おはなしかい(14:00～) 倉	⑭	15	16	17	18	19	⑳
□むかし話をきく会(14:00～) 倉	㉑	22	23	㉔	25	26	27
◇あかちゃんのおはなしかい(11:00～) 倉	㉘	29	30	31			
△おはなしかい(10:30～) 関							

1月1日～3日は、年始休館日

倉吉博物館

KURAYOSHI MUSEUM

■自然ウォッチングのお知らせ

「小鴨川の水鳥をみよう」

と き：1月8日(月) 午前9時～

と ころ：小鴨川

集合場所：倉吉東中学校裏小鴨川河川敷

毎年行っている小鴨川の水鳥を観察する行事です。同じ場所で、同じ時期に行うことで、年による差を比較でき、その原因を考える機会を与えてくれます。



また、同じ水鳥を見ていても、回を重ねるとただ居たというだけでなく、視点が変わってくるものです。いつも見るカルガモでも、1羽が翼をバタつかせ水をけりながらほかのカルガモを追っかけていけば、雌を困い込もうとする雄なのだとわかります。外見で雌雄の差がないカルガモですが、行動から判別し、翼の白斑の大小や、顔の白さにわずかでも差が見られるとわかるかもしれません。マガモなどは配偶者を得るため雄がきれいな繁殖羽に変わる冬なのですが、カルガモだけは年中同じ色をしています。なぜその必要が無いのでしょうか。雄は、どこか、雌にとっての魅力のあるもので競っているはず。あなたがそれを発見しませんか。楽しさが倍増します。

※問合せ先：倉吉博物館 (☎ 22-4409 FAX 22-4415)

イベント JANUARY 情報

展覧会・展示会

《倉吉博物館》 ■くらよし発 夢あーと

暮らしの中の手工芸展 6日～14日

■織で描く土で表す 6日～25日 ■第

10回自然ウォッチング「小鴨川の水鳥

をみよう」 8日 ■鳥取県美術家協会

作品展 28日～2月4日

《百花堂》 ■新春作家五人展(日本画) 三

島右畔・中川端月(洋画) 西田佐智子・

渡辺法子・鳥越祥子 2～8日 ■新春

盆栽展 10～14日 ■写友はごろも新春

展 16～22日 ■手作り服と小物展 24～

30日 ■光彩展 2月1日～7日

《民藝画廊》 ■新春絵画展 2007 3日

～20日

スポーツ

《市営体育センター》 ■キッズバレーボー

ルリーグ 21日 ■第2回ニュースポーツ

交流会(ユニバーサルホッケー) 28日

《市営武道館》 ■倉吉市営武道館鏡開き

式 14日

《関金農林漁業者等健康増進施設》 ■鳥

取県家庭婦人バレーボール大会 28日



就学前教育は？

すべての子どもたちの全面发展の保障と、差別を見抜き、差別を許さない心や力を育てるために、私たちは就学前の「子育て」をどう考え、実践すればいいのでしょうか。

基本的な生活習慣を身につけさせよう

入園して初めての集団生活に入っただ子どもたちの様子は、それまでの家庭生活での体験や環境によつてさまざまです。友だちのかかわり方、生活習慣の身のつき方、遊びの取り組み方など一人ひとり違います。

乳幼児にとつて「食べること」「寝ること」「着ること」など、自立した生活ができるための習慣はとても大事です。それは単に着脱や食事ができるということだけではなく、生きていく力、挑戦する力、頑張ろうとする力を身につけていくことにもなるからです。

一人でトイレに行けたり、ボタンがはめられたり、はしで食べられたりする事は「できた」という喜びとともに自信につながっていきます。就学前の集団生活の中で、子どもたちにあつた目標をつくり、目標に向かって努力する、達成できたらほめることなど、一人ひとりに応じた支援をしていくことを大切にしてい

ます。

「できないこと」「わからないこと」

「失敗」は必ずあります。その「失敗」

を乗り越えていくたくましさとしなやかさを身につけていくことも基本的な生活習慣づくりです。

基本的な生活習慣は「生きる力」

としてとても大切ですが、その生活習慣がそれなりに身につけていないために小学校の学習に入つていけない子どもの姿があるという実態が、小学校との連携の中からもわかります。

乳幼児期から一日の規律あるリズムを、身につけさせていくことは乳幼児期からの進路保障と言えるかも知れません。



▲基本的な生活習慣「食事」

ある園のこと

「女の子たちがいつものようにままごと遊びをしていました。そこへ別の女の子が『仲間に入れて』とやってきました。すると一人の子が『〇〇ちゃんは女の子なのにスカートじゃないからダメ!』と言いました。不当にも仲間はずれにされたその子の悲しそうな表情はいうまでもありません」

そのころ、「同和保育」として差別を許さない子どもに育てるために、さまざま保育目標を挙げて取り組んでいました。しかし、この出来事が学びとなり、子どもたちの生活や遊びの中で間違つた「も

盾することはないだろうか、不合理や矛盾するのではないだろうかという点で、もう一度保育や行事などを見直していきました。すると、今まで当たり前のようにいっていたことが、実は無意識に差別意識や偏見を植え付けていたことに気づきました。

例えば、歯ブラシの色や普段使う教材なども無意識に「男の子の色」「女の子の色」という固定的な見方による感覚を植え付けてしまっていました。また、必ず男児を先に書いていた名簿のあり方も検討され、男女混合名簿になりました。

行事では例えば「節分」です。「鬼は外」の掛け声は、実際に見たこともない鬼を悪者と決め付けたり、子どもたちに悪いイメージを植え付けたりして、差別や偏見につながるようなことはないでしょうか。

決して伝統文化をなくしていくことではなく、子どもたちに伝えていくべきことを保育の中で選択していくことでもあります。

差別を許さない豊かな感性を育てよう

差別を許さない豊かな感性を育てるためには、生活や遊びの中で、子どもたちに豊かな体験をさせ、その中で何をどう感じさせるかを考えていくことだと思います。

すべての大人が手本となり、愛情のまなざしのもとに子どもたちを守っていきましょう。

